



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3175 URL http://www.apcompany.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉野 勝己 (TEL) 03(6277)8738
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,508	37.6	725	19.7	907	36.3	501	27.9
25年3月期第3四半期	8,362	—	606	—	665	—	391	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 499百万円(27.6%) 25年3月期第3四半期 391百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	67.47	—
25年3月期第3四半期	59.62	—

- (注) 1. 当社は、平成24年3月期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
 3. 当社は、平成24年6月27日付で普通株式1株につき普通株式5株、平成25年2月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,075	2,344	25.8
25年3月期	7,444	1,840	24.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,341百万円 25年3月期 1,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	15,787	38.6	929	31.8	1,027	30.9	605	40.6	81.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・
会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	7,427,850株	25年3月期	7,427,850株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	138株	25年3月期	138株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	7,427,712株	25年3月期3Q	6,571,515株

(注) 当社は、平成24年6月27日付で普通株式1株につき5株、平成25年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明（定性的情報）	2
(2) 連結財政状態に関する説明（定性的情報）	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明（定性的情報）

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、金融緩和などの各種政策による経済成長への期待感から回復傾向にあります。消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、住宅投資は増加しており、また公共投資も、復興需要や緊急経済対策の効果から高い伸びが続いております。

国内の食産業を取り巻く環境につきましては、消費マインドの改善は一服しているものの、株価上昇に伴う資産効果や雇用・所得環境の改善を背景にした消費意欲の高まりなどから外食などのサービス消費も底堅く推移しております。

このような状況の下、当社は販売におけるサービスのさらなる充実、生産地の開拓、首都圏を中心とした新規出店を継続的に行ってまいりました。

また、食材生産拡大のために、平成25年4月より宮崎県西都市において加工センターが稼働し、徐々に地鶏の生産量を増加させております。なおこれに伴い、宮崎県西都市より補助金420万円を受領しております。また、平成25年10月に鹿児島県霧島市においても食材の生産拠点を置くことを決定し、今後の販売量増加に対応する準備を進めております。

以上の結果、第3四半期連結累計期間における売上高は11,508百万円（前年同期比37.6%増）、営業利益は725百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益は907百万円（前年同期比36.3%増）、四半期純利益は501百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。

「塚田農場」ブランド店舗の販売好調により、地鶏の生産量の増加及び取扱い青果物の増加傾向が続いており、生産流通事業の売上高及び利益が順調に推移する要因となっております。

また鮮魚についても、漁師や漁協などの提携先が増加し、取扱い流通量が増加しております。

平成25年10月には、鹿児島県霧島市で本格的に生産流通事業を開始するために、子会社(株)カゴシマバンズを設立し、食品の加工施設建設の準備を開始し平成26年5月には完成する予定です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,907百万円（前年同期比30.6%増）、セグメント利益は142百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗及び中食店舗を運営しております。

「塚田農場」ブランドの店舗を中心に既存店舗の売上が好調に推移しております。

当四半期連結累計期間において継続して新規出店を行い直営店舗は前期末より30店舗増加し、そのうち当四半期連結会計期間において「塚田農場」を15店舗出店し、直営店舗数は127店舗となりました。この新規のうち、シンガポールの3店舗目と千葉県幕張新都心における出店は、一般的な駅前立地と異なりショッピングセンター内へ展開しております。

また、既存店においても売上高前年比は好調で100%前後を維持しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,764百万円（前年同期比40.5%

増)、セグメント利益は 601百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明(定性的情報)

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,075百万円(前連結会計年度比1,631百万円の増加)となりました。これは主に販売事業における新規出店により、有形固定資産及び差入保証金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,344百万円(前連結会計年度比503百万円の増加)となりました。これは主に四半期純利益501百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は25.8%(前連結会計年度比1.1ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月13日に公表しました平成26年3月期の通期の業績予想に変更はありません。

平成26年3月期第3四半期連結累計期間の実績については、既存店売上が前年同期比100%前後を達成していること及び子会社で補助金を受領していることなどから、通期の連結業績予想の経常利益1,027百万円に対して第3四半期連結累計期間の経常利益が907百万円とすでに進捗率88.3%となっております。一方、販売事業の新規出店による出店経費が第4四半期も継続的に発生する見込であること及び本社移転も予定しているため、予想金額を据え置きとしております。

(単位:百万円)

	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 通期予想	対前年 増減率	平成26年3月期 第3四半期実績	対予想 進捗率
売上高	11,387	15,787	+38.6%	11,508	72.9%
営業利益	705	929	+31.8%	725	78.1%
経常利益	784	1,027	+30.9%	907	88.3%
当期純利益	430	605	+40.6%	501	82.8%

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,548,409	3,482,995
売掛金	365,497	576,161
たな卸資産	218,056	364,957
繰延税金資産	27,664	90,075
その他	202,781	195,503
貸倒引当金	△2,775	△4,249
流動資産合計	4,359,633	4,705,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,037,122	2,995,256
減価償却累計額及び減損損失累計額	△605,701	△828,879
建物及び構築物（純額）	1,431,421	2,166,377
工具、器具及び備品	817,922	1,233,506
減価償却累計額及び減損損失累計額	△400,418	△574,627
工具、器具及び備品（純額）	417,504	658,879
リース資産	70,045	70,011
減価償却累計額及び減損損失累計額	△55,647	△65,272
リース資産（純額）	14,397	4,739
その他	245,502	276,792
減価償却累計額及び減損損失累計額	△75,090	△104,703
その他（純額）	170,412	172,089
有形固定資産合計	2,033,735	3,002,085
無形固定資産		
のれん	6,895	6,156
ソフトウェア	9,544	9,898
その他	941	1,654
無形固定資産合計	17,382	17,709
投資その他の資産		
敷金及び保証金	920,063	1,141,639
長期前払費用	105,029	112,640
繰延税金資産	1,305	52,842
その他	12,260	49,005
貸倒引当金	△4,693	△5,435
投資その他の資産合計	1,033,965	1,350,693
固定資産合計	3,085,082	4,370,488
資産合計	7,444,716	9,075,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	479,089	722,834
短期借入金	168,980	—
1年内償還予定の社債	217,000	237,000
1年内返済予定の長期借入金	698,399	1,017,883
リース債務	10,928	3,924
未払金	160,672	71,333
未払費用	535,616	706,949
未払法人税等	249,016	208,304
その他	262,660	307,675
流動負債合計	2,782,363	3,275,904
固定負債		
社債	698,500	540,000
長期借入金	1,930,445	2,675,115
リース債務	3,846	1,236
繰延税金負債	1,360	16,813
その他	187,251	222,314
固定負債合計	2,821,404	3,455,480
負債合計	5,603,767	6,731,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	870,510	1,371,672
自己株式	△198	△198
株主資本合計	1,841,348	2,342,509
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△399	△1,024
その他の包括利益累計額合計	△399	△1,024
新株予約権	—	2,806
少数株主持分	—	256
純資産合計	1,840,948	2,344,547
負債純資産合計	7,444,716	9,075,933

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,362,831	11,508,212
売上原価	2,662,518	3,570,946
売上総利益	5,700,313	7,937,265
販売費及び一般管理費	5,094,122	7,211,846
営業利益	606,190	725,419
営業外収益		
受取利息及び配当金	181	454
協賛金収入	92,600	133,743
受取補償金	—	39,900
補助金収入	5,044	42,460
その他	18,822	30,302
営業外収益合計	116,648	246,860
営業外費用		
支払利息	36,194	47,010
新株発行費	11,550	—
社債発行費	5,775	—
その他	3,551	17,978
営業外費用合計	57,072	64,988
経常利益	665,767	907,290
特別利益		
負ののれん発生益	10,644	—
特別利益合計	10,644	—
特別損失		
固定資産除却損	131	—
減損損失	15,326	7,089
特別損失合計	15,457	7,089
税金等調整前四半期純利益	660,954	900,200
法人税、住民税及び事業税	269,310	367,310
法人税等調整額	△164	△98,496
過年度法人税等	—	130,981
法人税等合計	269,145	399,796
少数株主損益調整前四半期純利益	391,808	500,404
少数株主損失(△)	—	△757
四半期純利益	391,808	501,161

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	391,808	500,404
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△143	△624
その他の包括利益合計	△143	△624
四半期包括利益	391,665	499,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391,665	500,536
少数株主に係る四半期包括利益	—	△757

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	714,450	7,648,381	8,362,831	—	8,362,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	745,465	15,300	760,765	△760,765	—
計	1,459,916	7,663,681	9,123,597	△760,765	8,362,831
セグメント利益	133,707	475,072	608,780	△2,589	606,190

(注) 1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△738千円及びたな卸資産の調整額△1,851千円です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販売事業」セグメントにおいて、売上の減少等により、当初想定しておりました収益の見込めなくなった一部の店舗について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、「販売事業」15,326千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	759,443	10,748,768	11,508,212	—	11,508,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,147,707	15,300	1,163,007	△1,163,007	—
計	1,907,151	10,764,068	12,671,219	△1,163,007	11,508,212
セグメント利益	142,694	601,951	744,646	△19,227	725,419

(注) 1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△738千円及びたな卸資産の調整額△18,488千円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販売事業」セグメントにおいて、売上の減少等により、当初想定しておりました収益の見込めなくなった一部の店舗について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、「販売事業」7,089千円であります。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。